

大 学 院 園 芸 学 研 究 科
環 境 園 芸 学 専 攻
園芸科学コース
ランドスケープ学コース
(博 士 後 期 課 程)

2025 年 10 月入学 秋期学生募集要項・進学者選考要項
2026 年 4 月入学 学生募集要項・進学者選考要項

千 葉 大 学
Chiba University

大学院園芸学研究科（博士後期課程）
2025 年 10 月及び 2026 年 4 月入学 試験実施日程

園芸科学コース，ランドスケープ学コース

資格認定受付	5 月 20 日（火）～21 日（水）
願書受付	6 月 11 日（水）～13 日（金）
学力検査・口頭試問 等	8 月 20 日（水）
合格発表	9 月 3 日（水）

1 専攻及び募集人員

専攻名	コース名	入学定員	募集人員	
			2025年 10月入学	2026年 4月入学
環境園芸学専攻	園芸科学コース	28名	6名	18名
	ランドスケープ学コース			
	国際環境園芸学コース (注③)		8名(注④)	若干名

(注①)「募集人員」には、本学大学院博士前期課程(修士)からの進学者(博士前期課程修了見込み者で引き続き博士後期課程に進む者)も含まれます。

(注②) あらかじめ志望する担当教員に教育研究内容等について問い合わせのうえ、出願してください。

(注③) 国際環境園芸学コースは、海外からの留学生(私費外国人留学生も含む)の受入れを前提にしたコースであり、園芸科学コース、ランドスケープ学コースで開講する授業科目を英語で実施するカリキュラムとなります。留学生以外の学生でも本コースに出願することはできますが、履修する授業科目などは、英語又は日本語・英語併用が基本となるのでご注意ください。国際環境園芸学コースの募集要項は別に定めておりますのでご注意ください。

(注④) 国際環境園芸学コースの10月入学における募集人員はおおよその人数となります。

2 出願資格

次の(1)～(8)のいずれかに該当する者

(注) ※印の付いた年月は、2026年4月入学の場合です。2025年10月入学の場合は、2025年9月に読みかえてください。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2026年3月※に修士の学位又は専門職学位を取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026年3月※までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026年3月※までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026年3月※までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026年3月※までに授与される見込みの者

- (6) 外国の学校、上記出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び 2026年3月※までに認められる見込みの者で、本研究科において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)
- ① 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上の研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上の研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの及び 2026年3月※までに24歳に達するもの
- (注) 出願資格(5)～(8)については、10ページ「出願資格の認定手続きについて」を参照してください。

3 願書受付期間

期 間 2024年6月11日(水)から2024年6月13日(金)16時(必着)

原則、簡易書留郵便により送付してください。

出願用封筒に貼るラベルを印刷し封筒に貼り付け、送付してください。

松戸地区事務課学務室窓口へ直接持参する場合は、以下の日時に受け付けます。(事前連絡は不要です。)

6月11日(水)、12日(木) 14時～17時

6月13日(金) 10時～12時

(注①) 書類に不備がある場合は受理できないことがあります。

(注②) 日本国外から直接出願する場合は、事前に松戸地区事務課学務室へ連絡のうえ、EMS等により送付してください。

(注③) 出願資格(5)～(8)により出願資格の認定を申請する者は、事前に出願資格を認められなければ出願できません。10ページ「出願資格の認定手続きについて」を参照してください。

※当該年度内での1指導教員あたりの博士後期課程学生の受入れ上限は園芸科学コース、ランドスケープ学コース、国際環境園芸学コースで合計3名までとなります。

4 出願手続き

出願しようとする者は、次の書類を取りそろえ、所定の期日までに提出してください。（外国人志願者は、以下の出願書類を英語で作成しても差し支えありません。）

大学所定の様式については、必要事項を入力の上、ご自身で両面印刷してください。

（１） 出願書類等

出 願 書 類	注 意 事 項 等
①入学（進学）願書・写真票・受験票	本学所定の用紙（入学願書は両面印刷してください。）
②修士課程成績証明書	出身大学の学長（研究科長）が作成したもの。
③修士課程修了証明書又は修了見込証明書	出身大学の学長（研究科長）が作成したもの。修了見込みの者は、修了後「修了証明書」を提出してください。
④修士の学位論文等（ <u>進学志願者はイを提出する。</u> ）	ア 修士の学位を有する者は、学位論文の写し及びその要旨（本学所定の様式により2,000字以内） イ ア以外の者は研究経過報告書（本学所定の様式により2,000字以内）及びそれ以外に研究発表等の資料があれば研究業績調書（本学所定の様式による）を添付してください。
⑤研究計画書	本学所定の様式に記入してください。
⑥検定料 30,000円 （注）進学志願者及び現在国費外国人留学生の者及びダブルディグリー候補者は、検定料は不要です。	下記により、必ず出願前に、検定料を払い込んでください。 （１） 検定料払込期間： 2025年6月2日（月）から6月13日（金）まで （２） 払込方法： 「E-支払いサービス」を利用し、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかにより払い込んでください。 ※払込手順等は、別紙「千葉大学 検定料払込方法」やE-支払いサービスWebサイトの「利用ガイド」を参照してください。ご不明な点は、同サイトの「よくある質問」を確認の上、E-支払いサービスサポートセンターに問い合わせてください。 ※事務手数料は各自で負担してください。 （３） 払込後の手続： 収納証明書を入学願書の裏面に貼付し提出してください。収納証明書の取得方法は以下のとおりです。 ・コンビニエンスストア決済の場合：店舗で受け取ってください。 ・ペイジー、ネットバンキング、クレジットカード決済の場合： E-支払いサービスWebサイトの「申込内容照会」から印刷してください。 （４） 一旦納入された検定料は、原則返還しません。ただし、検定料を誤って振込み、出願しなかった者が、所定の返還手続を行った場合は返還します。返還手続の詳細は、松戸地区事務課学務室に確認してください。なお、返還手続期限は2026年3月31日（火）となります。

	■ E-支払いサービス (https://e-shiharai.net/) インターネット上から、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードから希望の払込方法を選択の上、検定料の払込等ができるサービスです。 ※当サイトへの事前申込が必要です。 ※利用できる払込方法は大学により異なります。 ■ 海外から志願される方へ 日本国外在住の志願者についてはクレジットカードのみ利用できます。クレジットカードでの払込後、E-支払いサービスWebサイトの「申込内容照会」から収納証明書を印刷し、入学願書の裏面に貼付してください。 ※英語版サイト (https://e-shiharai.net/ecard/) 外国人留学生向けの英語版サイトです。こちらはクレジットカード決済のみの案内となります。決済後、印刷した「Result Page」を出願書類と共に提出してください。	 
⑧返信用封筒 3 枚 ・長形 3 号封筒 2 枚 （うち 1 枚は切手貼付） ・角形 2 号封筒 1 枚	長形 3 号封筒 2 枚（受験票送付用，合格通知書送付用），角形 2 号封筒 1 枚（入学手続き書類送付用）を用意し，あて名に自身の住所・氏名（入学願書に記載した氏名と同じ表記）を記載してください。長形 3 号封筒 1 枚（受験票送付用）には，460円分の郵便切手を貼ってください。	
⑨受験許可書	<u>在職のまま在学しようとする者は</u> ，所属長の受験許可書（本学所定の様式による）を提出することが望まれます。	
外国人志願者は，上記提出書類のほか下記の書類を提出してください。		
①外国人留学生履歴書	本学所定の用紙	
②住民票の写し	<u>市区町村発行のもの（在留資格・在留期間の記載したもの）</u> 。登録していない場合は，パスポートの写しを提出してください。（本人の氏名，生年月日，性別，在留資格を表示する部分及び日本国査証の部分）	

【試験当日必要な書類】

試験当日必要な書類	注 意 事 項 等
TOEIC L&R の公式認定証，TOEFL 受験者用スコアレポート，または IELTS の公式成績証明書の <u>原本と写し</u> （注）ただし，外国の大学を卒業した国費外国人留学生及び JICA 研修員は提出不要です。	口頭試問の際に<u>原本</u>を確認し，<u>写し</u>を提出していただきます。 なお，千葉大学の出身者のみ，千葉大学で実施された TOEIC L&R -IP，TOEFL-ITP のスコアも認めます。 TOEIC L&R，TOEFL，IELTS いずれも，2023 年 8 月以降に受験した公式認定証（デジタル公式認定証も可），受験者用スコア票が有効となります。 ※TOEIC S&W は利用できません。

5 選抜方法及び期日

(1) 選抜方法（一般志願者及び進学者）

入学者の選抜は「英語」，「口頭試問及び成績証明書」を総合して行います。

※各 100 点満点の合計 200 点満点で評価します。

※英語は提出された TOEIC L&R 等のスコアを換算いたします。

ただし，外国の大学を卒業した国費外国人留学生及び JICA 研修員は英語を免除します。

(2) 英語（TOEIC L&R 等のスコア換算）

11 ページの換算式にて TOEIC L&R 等のスコアを英語の点数とします。

口頭試問の際に，TOEIC L&R の公式認定証（デジタル公式認定証も可），または TOEFL，IELTS 等の受験者用スコアレポートの原本を確認し，写しを提出していただきます。忘れずに持参してください。

(3) 口頭試問

修士学位論文及び研究計画書等について行います。口頭試問における発表時間は出願者により異なります。出願時に指導教員にご相談ください。

（目安：プレゼンテーション 10 分～20 分，質疑応答 20 分）

※プレゼンテーションの形式は，パワーポイント，ボードなど自由です。

パワーポイントを用いる場合，使用可能な PC プロジェクターおよび Windows の PC は会場に準備してあります。ただし，会場の PC の仕様は Windows10，ソフトは Microsoft Office 2016 の Word/Excel/Power Point となるので，USB メモリ等を利用する場合，あらかじめ互換性の確認を行っておいてください。（注：発表には自分の PC を持参して使用しても構いません。）

(4) 合否判定基準

「英語」，「口頭試問及び成績証明書」の得点を合計した点数（総合点※）の高い順に合格とします。ただし，科目ごとに 60 点未満となるものがある場合には，総合点にかかわらず不合格とすることがあります。

また，指導教員 1 名に対して，当該年度内に受入可能な学生は園芸科学コース，ランドスケープ学コース，国際環境園芸学コースで合計 3 名までとなります。

※英語を免除した場合の受験者に関する順位付けは，その他の受験者とは別に行います。

(5) 学力検査等日時

期 日	学力検査等科目	時 間
2025 年 8 月 20 日（水）	口頭試問・TOEIC L&R 等 スコアの確認※	10 時 00 分～

(6) 学力検査の場所

千葉大学園芸学部で行います。

(7) 渡日前選抜について

国費または国費に準じる奨学金を受給することが決定している志願者、JICA 研修員及びダブルディグリーの候補者は、インターネットで口頭試問を受けることができます。その場合には、2025 年 5 月 20 日(火) から 2025 年 5 月 21 日(水) までに学務室に申し出てください。

※追加の書類の提出を求める場合があります。

※JICA 研修員及びダブルディグリーの候補者は、所属大学等にて事前に口頭試問を行う場合があります。

※参考：国費留学生に準じる奨学金受給額は 147,000 円/月を想定，入学料・授業料免除

6 注意事項

- (1) 学力検査に必要な事項を 2025 年 8 月 19 日(火) 10 時に園芸学部掲示板に掲示します。
(遠方等で前日来られない方は、試験当日、早めに来校し、掲示板で内容を確認してください。)
- (2) 試験時間中は必ず受験票を携行してください。
- (3) 出願手続き後の提出書類の内容変更は認めません。
- (4) 受理した出願書類はいかなる理由があっても返却しません。
- (5) いったん納入した検定料はいかなる理由があっても返還しません。ただし、検定料を誤って振込み、出願しなかった者が 2026 年 3 月 31 日(火) までに所定の返還手続を行った場合は、検定料の全額を返還します。詳細については松戸地区事務課学務係に確認してください。
- (6) 入学者選抜の過程で収集した個人情報が入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。
- (7) 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

7 身体等に障害等のある入学志願者の事前相談

身体等に障害等があり、受験上(及び修学上)特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により事前相談の申請を行ってください。

(1) 提出書類

- ① 事前相談申請書(用紙は松戸地区事務課学務係に請求してください。)
- ② 障害の程度及び必要とする具体的な措置等を掲載した医師の診断書等

(2) 事前相談の締切日：2025 年 5 月 21 日(水) 17 時まで

(3) 申請書請求及び書類提出先：松戸地区事務課学務係

(4) 相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、本人、保証人又は出身大学関係者へ照会する場合があります。

8 合格者発表

日 時 2025 年 9 月 3 日(水) 13 時(予定)

場 所 園芸学部掲示板に掲示するとともに園芸学部ホームページに掲載いたします。(9 月 10 日(水) まで)

注 意 合格発表後、合格者には、合格通知書を簡易書留郵便で送付します。電話やメールでの問い合わせは、本人でも回答致しかねますのでご了承ください。

9 入学手続

千葉大学では、「WEB 入学手続システム」を導入しています。合格者の皆様の利便性を図るため、システムを利用いただく事で大学への来校を不要とし、入学料納入もクレジットカード決済やコンビニ支払いとします。「WEB 入学手続システム」や入学手続の詳細は千葉大学ホームページに掲載し、合格通知書とともに手続方法の案内を発送します。
入学手続を行わないと入学を辞退したものと見なしますので、十分注意してください。

(1) 入学手続日

【10月入学者の場合】

2025年9月11日（木）～17日（水）までに「WEB 入学手続システム」にて入学手続を行ってください。

【4月入学者の場合】

2026年3月19日（木）～25日（水）までに「WEB 入学手続システム」にて入学手続を行ってください。

(2) 入学（進学）時に要する経費等

①入 学 料 282,000円

②授 業 料 321,480円（年額642,960円）

※千葉大学の博士前期課程（又は修士課程）から進学する者は入学料の納入は不要です。

※国費外国人留学生は入学料、授業料の納入は不要です。

（注）入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

【10月入学者の場合】

入学後の後期分授業料は11月に、前期分授業料は4月に預金口座振替により納入願います。口座振替手続等についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。また、入学して2年目から、後期分授業料は10月が口座振替の月となります。

【4月入学者の場合】

入学後の前期分授業料は5月に、後期分授業料は10月に預金口座振替により納入願います。口座振替手続等についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。また、入学して2年目から、前期分授業料は4月が口座振替の月となります。

また、入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は、千葉大学ホームページ (<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>) をご覧ください。

③学生教育研究災害傷害保険料 3,620円（3年分） 全員加入

（正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。）

10 昼夜開講制について

園芸学研究科では、教育上特別の必要があると認めるときは夜間その他の時間又は適切な時期に講義を聴講し、研究を行うことができます。

希望者は、事前に学務室及び志望する指導教員に照会してください。また、その旨願書に明記してください。

11 早期修了について

博士後期課程の修了要件は3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたいえ、論文の審査及び最終試験に合格することとなりますが、在学中、優れた業績を上げた者については1年間で修了できます。ただし、博士前期課程を早期修了した場合には、博士後期課程は2年間で修了となります。

12 長期履修学生制度について

職業を有している等の社会人学生で、1年間または1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、本研究科の標準修業年限（後期課程は3年間）を超えて在学しなければ課程を修了することができないと考える者に対して、申請に基づき、大学が審査し、最長6年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することにより学位の取得を認める制度です。ただし、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の3年間（6学期）の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。希望者は、事前に学務室及び志望する指導教員に照会してください。また、その旨願書に明記してください。

13 ダブルディグリープログラム

園芸学研究科では、博士後期課程ではマヒドン大学（タイ）、パジャジャラン大学（インドネシア）、キングモンクット工科大学トンブリ校（タイ）、メイファールアン大学（タイ）、南京農業大学（中国）との「ダブルディグリープログラム」を実施しています。

このプログラムは、各協定大学との合意に基づいて、千葉大学の学位と協定大学の学位を取得できるものです。

14 入学試験に係る成績の開示について

本試験に関する成績の開示については、不合格者を対象に2026年5月7日（木）から2026年7月31日（金）までの間、受験者本人からの申し出により開示します。なお、手続きには受験票が必要となりますので、大切に保管しておいてください。

15 安全保障輸出管理について

千葉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人千葉大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。

16 書類の提出、問い合わせ先

〒271-8510 千葉県松戸市松戸648

千葉大学松戸地区事務課学務室

電話：047-308-8712, 8714

電子メール：engei-daigakuin@office.chiba-u.jp

園芸学研究科ホームページ：<https://www.h.chiba-u.jp/>

出願資格の認定手続きについて

2, 3 ページの出願資格（５）～（８）に該当する者の認定を次のとおり行います。

（１）提出書類

提出書類	注意事項等
① 入学試験出願資格認定申請書	本学所定の用紙
② 研究業績調書	本学所定の用紙
③ 成績証明書	最終出身学校の長が作成したもの。
④ 卒業証明書	最終出身学校の長が作成したもの。
⑤ 推薦書	有職者の場合、所属の長または指導的立場にある者が作成したものがのぞましいです。その他の場合は自己推薦書でも結構です。様式は任意とします。
⑥ その他	審査に参考となるもの（学術論文及びそれに相当するもの）。

- ・ 出願資格（５）～（８）に該当する者は、出願前にあらかじめ松戸地区事務課学務係へ問い合わせてください。
- ・ 本研究科が必要と判断した場合、研究経過証明書等の書類の提出を求めることがあります。

（２）提出期間

2025年5月20日（火）から2025年5月21日（水）16時（必着）

簡易書留郵便により以下まで送付してください。

送付先：〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648

千葉大学松戸地区事務課学務室

封筒表面に、朱書きで「出願資格審査書類在中」と記載してください。

※園芸学部学務窓口への持参での受付希望の場合は、事前にメールにて受付希望日時をお知らせください。

（３）審査の結果は、本人宛に通知します。

（４）入学者選抜

2025年8月20日（水）に実施する学力検査科目、検査日時等すべて一般出願者と同様に行います。

（５）書類の提出、問い合わせ先

〒271-8510 千葉県松戸市松戸648

千葉大学松戸地区事務課学務室

電話：047-308-8712, 8714

電子メール：engei-daigakuin@office.chiba-u.jp

園芸学研究科ホームページ： <https://www.h.chiba-u.jp/>

博士後期課程 英語スコア換算表

Conversion Table of English proficiency in Doctoral course

得点 Score	TOEIC L&R TOEIC IP	TOEFL iBT	TOEFL ITP	IELTS
100	900-	101-	608-	7.5
99	890-895		606-607	
98	880-885	100	603-605	
97	875		600-602	
96	865-870	98-99	597-599	
95	860		594-596	7
94	850-855	96-97	592-593	
93	840-845		589-591	
92	835	94-95	586-588	
91	825-830	92-93	583-585	
90	820		580-582	
89	810-815		578-579	
88	800-805	90-91	575-577	
87	795	88-89	572-574	
86	785-790		569-571	
85	780	86-87	567-568	
84	770-775		564-566	
83	760-765	84-85	561-563	6.5
82	755	83	558-561	
81	745-750		555-557	
80	740	81-82	553-554	
79	730-735	79-80	550-552	
78	720-725	77-78	547-549	
77	715		544-546	
76	705-710	76	541-543	
75	700		539-540	
74	690-695	74-75	536-538	
73	680-685	72-73	533-535	6
72	675	71	530-532	
71	665-670		528-529	
70	660		525-527	
69	650-655	69-70	522-524	
68	640-645	68	519-521	5.5
67	635	66-67	516-518	
66	625-630		514-515	
65	620	65	511-513	
64	610-615	64	508-510	
63	600-605		505-507	
62	595	62-63	503-504	
61	585-590	61	500-502	
60	580	59-60	497-499	5
59	570-575		494-496	
58	560-565	58	491-493	
57	555	57	489-490	
56	545-550		486-488	
55	540	56	483-485	
54	530-535	54-55	480-482	
53	520-525	53	477-479	
52	515		475-476	
51	505-510	52	472-474	
50	500		469-471	4.5

博士後期課程 英語スコア換算表

Conversion Table of English proficiency in Doctoral course

得点 Score	TOEIC L&R TOEIC IP	TOEFL iBT	TOEFL ITP	IELTS
50	500		469-471	4.5
49	490-495	51	466-468	
48	480-485		464-465	
47	475	49-50	461-463	
46	465-470	48	458-460	
45	460	47	455-457	
44	450-455	45-46	452-454	
43	440-445		450-451	
42	435	44	447-449	
41	425-430		444-446	
40	420	43	441-443	4
39	410-415	41-42	438-440	
38	400-405		436-437	
37	395	40	433-435	
36	385-390	39	430-432	
35	380	38	427-429	
34	370-375		425-426	
33	360-365		422-424	
32	355	36-37	419-421	
31	345-350	35	416-418	
30	340	34	413-415	
29	330-335		411-412	
28	320-325		408-410	
27	315	33	405-407	
26	305-310	32	402-404	
25	300		400-401	
24	290-295	30-31	397-399	
23	280-285		394-395	
22	275	29	391-393	
21	265-270		388-390	
20	260	28	386-387	3.5
19	250-255	26-27	383-385	
18	240-245		380-382	
17	235	25	377-379	
16	225-230		374-376	
15	220	24	372-373	
14	210-215		369-371	
13	200-205	23	366-368	
12	195		363-365	
11	185-190		361-362	
10	180	22	358-360	3
9	170-175		355-357	
8	160-165	21	352-354	
7	155	19-20	349-351	
6	145-150		347-348	
5	140		344-346	
4	130-135	18	341-343	
3	120-125		338-340	
2	115	17	335-337	
1	105-110		333-334	
0	0-100	0-16	0-332	0-2.5

園芸学研究科環境園芸学専攻（博士後期課程）における三つのポリシー

学位授与の方針	1. 「自由・自立の精神」
	「園芸とランドスケープ」に関わる研究者や大学教員あるいは研究・行政等の組織統括者として、自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を行える。加えて社会に対する科学者としての責任の自覚と研究倫理を身につけて、主体的に行動できる。
	2. 「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」
	自ら課題を設定し、自立的な研究開発を行うことができ、その成果を国際的・学際的に発信できる。また、高等教育研究者あるいは国内外の機関の指導的人材として活動するための基礎として、多様な文化・歴史に対する理解を有して、地球社会と地域社会の双方の持続的な発展のために役立てることができる。
	3. 「専門的な知識・技術・技能」
	「園芸とランドスケープ」に関わる創造性に富む高度な研究・開発能力と豊かな学識を持ち、新たな知見や価値の創出に貢献できる。また、幅広い専門的知識や研究遂行能力を活かして、高度な研究開発プロジェクトの企画・管理等を行うことができる。
教育課程編成・実施の方針	4. 「高い問題解決能力」
	「園芸とランドスケープ」に関わる課題を見出し、専門分野・関連分野の情報・知識を活用しながら、他者と協調・協働し、知識基盤社会を支える新たな知見や価値を創出することができる。
	1. 「自由・自立の精神」を堅持するために
	「園芸とランドスケープ」に関わる研究者、高等教育指導者や組織統括者としての基本的な倫理、態度、方法論を育むために、環境園芸技術マネジメント、環境園芸アントレプレナー育成科目を専攻共通基盤科目として置く。また、ティーチングフェロー制度やチューター制度をおき、指導的な能力の育成やキャリア教育支援を行う。
	2. 「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために
	自律的な研究開発を行うことができ、成果を国際的・学際的に発信できる人材を育成するために、学術の国際展開あるいはマネジメントに関わるセミナー型科目を専攻共通基盤科目として置く。
	3. 「専門的な知識・技術・技能」を修得するために
	「園芸とランドスケープ」に関わる高度な研究開発能力と豊かな学識を持ち新たな知見や価値の創出に貢献できる人材を育成するために、幅広く専門科目を設置し、研究の開拓に必要な科目を自主的に履修させる。
	4. 「高い問題解決能力」を育成するために
	「園芸とランドスケープ」に関わる新たな課題を見出し、新たな知見や価値を創出する高い問題解決能力を育成するために、十分な研究時間を確保し、園芸産学官セミナーやランドスケープ産学官セミナーなどを通じて共同研究の機会を提供し、特別演習によって個別に適切な指導を行う。
	5. 「学修成果の厳格な評価」のために
	・学修成果については、事前にシラバス等で提示する各授業目標への到達度によって、厳格かつ公正な評価を行う。授業科目の特性に応じて、以下のような適切な評価方法によって成績評価を行う。 ・講義科目では、試験、レポート、リアクションペーパー等でその達成度を評価する。 ・実験・実習・演習科目では、試験、レポート、口頭発表、実技等でその達成度を評価する。 ・学位論文は、審査基準と審査方法をあらかじめ明示し、それに基づき審査体制を整備したうえで、論文審査および最終試験を厳格かつ公正に行う。

入学者受入れ の方針	1. 学位授与方針1の基礎となる園芸学研究科の伝統を理解し、園芸科学やランドスケープ学に関する強い興味を有し、関連する分野について深く学ぶ意思のある者
	2. 学位授与方針2の基礎となる英語について、プレゼンテーションやアカデミックライティングの基礎的能力のある者
	3. 学位授与方針3の基礎となる園芸科学やランドスケープ学の知識・技術・技能を習得した者
	4. 学位授与方針4の基礎となる研究計画能力を有した者

千葉大学の概要

千葉大学は、昭和24年5月31日付けで、当時千葉県内にあった千葉医科大学、同大学附属医学専門部及び薬学専門部、千葉師範学校、千葉青年師範学校、東京工業専門学校、千葉農業専門学校の各旧制国立諸学校を包括して、新製の国立総合大学として発足したものです。さらに、平成16年4月1日付けで国立大学 法人千葉大学が設立され、千葉大学は同法人により運営されることとなりました。

新制国立大学として発足した当初の千葉大学は、5学部（学芸学部、工芸学部、園芸学部、医学部、薬学部）と1研究所（腐敗研究所）及び附属図書館からなっていましたが、昭和30年4月には大学院が設置され、その後も何度かの学部・研究科等の拡充改組を重ね、現在は、国際教養学部、文学部、法政経学部、教育学部、理学部、工学部、情報・データサイエンス学部、園芸学部、医学部、薬学部、看護学部の11学部、附属図書館、医学部附属病院、各センター等及び大学院に置かれる人文公共学府、専門法務研究科、教育学研究科、融合理工学府、園芸学研究院、医学薬学府、看護学研究院、医学研究院、薬学研究院により構成されるに至っています。

国立大学法人千葉大学のキャンパスは、西千葉、亥鼻、松戸、柏の葉、墨田の5キャンパスに分かれています。西千葉キャンパスはJR総武線西千葉駅前に位置する千葉市稲毛区弥生町の39万m²に及ぶメインキャンパスであり、ここに大部分の学部その他の施設が集中しています。亥鼻キャンパスは千葉市中央区亥鼻の台地に医学部、薬学部、看護学部及び医学部附属病院等が置かれています。また、松戸キャンパスには園芸学部、柏の葉キャンパスには環境健康フィールド科学センター等が置かれ、さらに2021年には墨田キャンパスが新設され、デザイン・リサーチ・インスティテュートが置かれています。

1. 希望する指導教員の決定

指導教員一覧で掲載している各教員の研究テーマを元に第一志望となる指導教員を決めたら、事前に問い合わせ受講許可を得てから出願してください。詳しい研究内容等は園芸学部・園芸学研究科のホームページ (<https://www.h.chiba-u.jp/>) から確認してください。

なお、研究指導は指導教員と副指導教員の複数の教員により行われます。(副指導教員は入学後に決定します。)

2. 指導教員一覧

(1) 園芸科学コース

①栽培・育種学領域(栽培学分野, 育種学分野)

【栽培学分野】

氏 名	研究テーマ (キーワード)	備 考
教 授 渡 辺 均	花卉, ペチュニア, カリブラコア, ダンギク, 交雑親和性, 種子発芽, 花卉セル成型苗生産, 屋上緑化, 壁面緑化	環境健康フィールド科学センター所属
教 授 中 野 明 正	社会実装を想定したイノベーションな園芸生産システム開発, 園芸作物における新しい発想での持続的生産システムの開発, 植物工場における安定同位体による新規品質評価法の開発, 園芸作物の根に関する研究。 キーワード: 生産システム, 持続的生産, 安定同位体, 園芸根学	
教 授 菅 野 明	栽培種・野生種を用いたアスパラガスの品種育成と栽培技術の確立を行うとともに、アスパラガスの雌雄性分化の分子機構を明らかにし、栽培育種に応用する分子育種学的研究を行っている。 キーワード: 野菜、アスパラガス、野生種、種間雑種、分子育種、雌雄性分化、花芽分化、分子遺伝、植物遺伝資源	
准教授 淨 閑 正 史	施設栽培, 養液栽培, 種苗生産, 栄養繁殖, 光質, 二次代謝産物, レドックス, 環境ストレス, 収量, 品質, 果菜の輸出	
准教授 塚 越 寛	野菜の栽培技術, 特に養液栽培技術について, 培養液管理の最適化, 培養液管理の新技术などを中心に研究している。また, それらの技術を応用した野菜の高品質化, 植物工場への応用などを研究している。 キーワード: 施設栽培, 養液栽培, 機能性野菜, 収量と品質, 植物工場, 苗生産, 培養液管理技術	環境健康フィールド科学センター所属
准教授 深 野 祐 也	生態学の知見を応用して, 生産性と環境・生物多様性が両立した持続的な農業を目指して研究している。 キーワード: 作物学, 雑草管理, 作物保護, 環境再生型農業, 生物多様性, 生態学, フィールドワーク	
准教授 齋 藤 隆 徳	果樹園芸学, 樹木生理, 休眠・萌芽制御, 分子フェノロジー, 遺伝子制御ネットワーク, ビッグデータ・データサイエンス	
准教授 黒 沼 尊 紀	花卉園芸学, トルコギキョウ, Ca 欠乏症, オタネニンジン, 屋上緑化, 環境改善効果, 環境影響評価	環境健康フィールド科学センター所属
客員教授 遊 川 知 久	ラン科, 熱帯植物, 植物遺伝資源, 育種, 生息域外保全, 植物園, 分類学, 分子系統, 菌根共生	

【育種学分野】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授 佐々 英徳	品種改良，分子遺伝，遺伝子組換え，遺伝子機能解析，花粉・雌ずい相互作用，自家不和合性	
特任教授 高橋秀幸	宇宙生物学，宇宙園芸，植物生理，環境応答，重力形態形成，水分屈性，植物ホルモン，ラッカセイ，キュウリ，アサガオ，イネ，オオムギ，シロイヌナズナ	国際高等研究基幹所属
特任教授 日出間純	宇宙生物学，植物分子細胞生理学，紫外線生物学，重力・ストレス応答，環境適応，光シグナル伝達，オルガネラ動態，イネ，シロイヌナズナ，コケ，ミヤコグサ等のモデル植物	国際高等研究基幹所属
准教授 菊池 真司	染色体，品種改良，遺伝育種，細胞遺伝，核型解析，種分化，遠縁交雑，類縁関係，FISH	
准教授 井川 智子	植物バイオテクノロジー，遺伝子組換え，受精，配偶子相互作用，タンパク質・遺伝子機能解析	
准教授 南川 舞	果樹育種，統計遺伝学，分子遺伝学，データ科学，ゲノミック選抜，機械学習	国際高等研究基幹所属

②生物生産環境学領域（物理環境分野，生物環境分野，化学環境分野）

【物理環境分野】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授 小川 幸春	農産工学，植物環境工学，農業気象・環境学，ポストハーベスト工学，食品工学，食品加工学，顕微構造解析，物性計測・評価，理化学特性，消化性評価・解析，植物性食品	
准教授 彦坂 晶子	植物環境工学，農業気象・環境学，農産食品工学，植物生態生理学，スマート温室，植物工場，植物生育制御，環境応答，生理活性物質生産，遺伝子発現，生育モデル	

【生物環境分野】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授 ○野村 昌史	害虫および天敵類の生活史や害虫防除に関する研究，DNAなどを用いた昆虫の分子系統解析・種内変異に関する研究，緑地の生物多様性に関わる研究 キーワード：害虫防除，天敵昆虫，生活史，分子系統学，遺伝子解析，種内変異解析，生物多様性	
准教授 宇佐見俊行	植物病原糸状菌の病原性に関する遺伝学的研究，植物病原糸状菌の病原性および諸性質の解明に関する研究 キーワード：植物病理学，植物病原糸状菌，植物保護	
准教授 長 泰行	捕食者－被食者間相互作用に関する研究 キーワード：行動生態学，捕食者と被食者の相互作用，ダニ，ギルド内捕食，捕食性天敵，植食者，対捕食者反応	

○印は2027年3月31日で定年退職となる教員です。

【化学環境分野】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授 ○坂本 一憲	植物と微生物の共生関係の解明とその利用について研究を行っている。 キーワード：植物栄養学，根圏微生物学，植物と微生物の共生関係，アーバスキュラー菌根菌，根粒菌，微生物肥料・農薬，作物の環境ストレス耐性，土壌の汚染と浄化	
教 授 大和 政秀	植物の地下組織に共生する菌類である菌根菌の生態を理解し，農林業・植物保全などへの活用を目指す研究を行っている。 キーワード：菌類生態学，菌類群集構造解析，菌根共生，アーバスキュラー菌根，ラン菌根，菌従属栄養植物	西千葉キャンパスで指導
准教授 八島 未和	土壌肥料，窒素と炭素の循環，土壌と植物の相互作用，安定同位体の利用	
准教授 浦口 晋平	植物が土壌中の無機栄養成分や有害金属に対してどのように応答するのか分子レベルで解明し，低肥料栽培に対応した植物や有害金属を蓄積しにくい植物系統を確立することを目指した研究を行っている。 キーワード：植物栄養学，植物生理学，分子遺伝学，有害金属，低肥料，遺伝子組換え植物，分子育種	
客員教授 石川 覚	作物が有害な化学物質（主にカドミウム，ヒ素，放射性セシウム）を吸収する仕組みを分子レベルで解明し，それら物質を吸収しにくい水稻品種の開発やファイトレメディエーションの研究を行っている。 キーワード：植物栄養学，植物生理学，分子遺伝学，DNA マーカー育種，有害化学物質，無機分析，土壌汚染，ファイトレメディエーション，食の安全	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構農業環境研究部門（茨城県つくば市）所属
客員准教授 渡邊 未来	環境分析化学，森林の窒素汚染，放射性セシウム汚染，市街地土壌の微量元素	

○印は2027年3月31日で定年退職となる教員です。

③応用生命化学領域（生命分子化学分野，生命資源化学分野）

【生命分子化学分野】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授 ◎児玉 浩明	転写後遺伝子発現抑制，RNA 干渉，好熱菌発酵産物，腸内細菌	西千葉キャンパスで指導
准教授 土肥 博史	生物有機化学，生理活性糖鎖，糖脂質，有機構造解析，抗菌化合物，植物病原菌	西千葉キャンパスで指導
客員教授 宮本 浩邦	生化学，動物生理学，腸内細菌学，発酵工学，循環型農業，好熱菌	西千葉キャンパスで指導
講 師 相馬亜希子	分子生物学，遺伝子発現制御，タンパク質合成，低分子RNA	

◎印は2028年3月31日で定年退職となる教員です。

【生物資源化学分野】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授◎江頭祐嘉合	食品化学，食品機能学，栄養生化学，分子栄養学，トリプトファン代謝，脂質代謝，食物繊維，抗炎症，培養細胞・動物を用いた食品の機能性評価，DNAマイクロアレイ	
教 授 天知 誠吾	環境微生物学，応用微生物学，食品微生物学，重金属汚染，放射性核種，ヨウ素と微生物，乳酸菌，耐酸性，殺菌技術	
教 授 華岡 光正	植物分子生物学，葉緑体，光合成微生物，細胞内シグナル伝達，遺伝子発現制御，光環境応答，ストレス応答，生物時計，転写因子，ファイトケミカル，葉緑体工学，物質生産	西千葉キャンパスで指導
准教授 平井 静	食品機能学，食品栄養学，分子栄養学，栄養生化学，培養細胞・動物を用いた食品の機能性評価，糖・脂質代謝，骨代謝，メタボリックシンドローム，骨粗鬆症	
准教授 島田 貴士	植物細胞生物学，植物生理学，植物病理学，分子生物学，細胞内小器官，脂質，オイルボディ，病原糸状菌	西千葉キャンパスで指導

◎印は2028年3月31日で定年退職となる教員です。

④食料資源経済学領域（フードシステム学分野，資源環境経済学分野）

【フードシステム学分野】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授○吉田 行郷	農業経営，農福連携，集落営農，国産麦のフードシステム，英国のフードシステム，震災復興	
教 授 櫻井 清一	農産物流通，フードシステム，マーケティング，関係性，農村多角化，社会関係資本	
准教授 矢野 佑樹	アグリビジネス，マーケティング・サイエンス，統計学，農業・環境政策，エネルギーと農業	

○印は2027年3月31日で定年退職となる教員です。

【資源環境経済学分野】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授 栗原 伸一	農業計量経済学，食品統計学，実験経済学	
教 授 丸山 敦史	応用計量経済学，数理モデリング，農業経済学，環境経済学，意思決定論	

（２）ランドスケープ学コース

①環境造園計画学領域，環境造園デザイン学領域，環境造園管理学領域

【環境造園計画学領域】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授◎古谷 勝則	自然環境の保全と利活用，緑地計画，環境教育，自然体験活動，技術者教育，エコツーリズム，造園学原論，歴史，風景論，国際比較，生態系サービス，里山，自然公園，都市緑地	
教 授 齋藤 雪彦	都市計画，農村計画，地域計画，都市オープンスペース，生活空間，集落，ツーリズム，景観，レクリエーション，土地利用・管理，地域づくり	
准教授 霜田 亮祐	ランドスケープ論，文化的景観，メモリアルプレイスの計画設計手法，集合住宅地開発における自然環境の構造化，都市・地域再生計画，都市生態学	

◎印は2028年3月31日で定年退職となる教員です。

【環境造園デザイン学領域】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授◎章 俊華	緑地環境科学，ランドスケープデザイン，緑地環境文化，緑地空間表現方法	
教 授 武田 史朗	ランドスケープデザイン，建築とオープンスペースとの関係，流域空間デザイン，空間領域の認識，キャンパス計画，ランドスケープアーキテクチャにおける理論	
教 授 木下 剛	グリーンインフラの計画設計，エコデザイン，公園デザイン，公園再生，環境施設の設計	

◎印は2028年3月31日で定年退職となる教員です。

【環境造園管理学領域】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授 柳井 重人	緑地環境管理，緑地機能評価，パブリックオープンスペース，パークマネジメント，緑地保全，まちづくり，パートナーシップ，アクションリサーチ	
教 授 秋田 典子	土地利用マネジメント，コミュニティと緑，環境ガバナンス，自然と共生する空間創造，景観計画，復興とレジリエンス	
准教授 竹内 智子	植栽管理，歴史的庭園の復元，園芸文化とまちづくり，公園の再生整備，都市緑地政策，官民連携	

②緑地環境システム学領域，緑地環境資源学領域

【緑地環境システム学領域】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授 梅木 清	森林動態，森林管理，生物間相互作用，野外調査，統計解析，コンピュータシミュレーション	

【緑地環境資源学領域】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授◎百原 新	植生史学，環境考古学，第四紀学，気候変動，生物進化，植生変遷，水湿地，自然再生	
教 授 高橋 輝昌	緑地生態系，緑地土壌，土壌生物，土壌改良，物質循環，緑地造成・管理，リサイクル緑化	
准教授 加藤 顕	リモートセンシング，GIS，景観生態学，3次元レーザー，森林科学，写真測量，生態系サービス，モニタリング	
助 教 渡辺 洋一	遺伝，植物系統地理，進化生態，植物個体群管理，生物多様性保全	

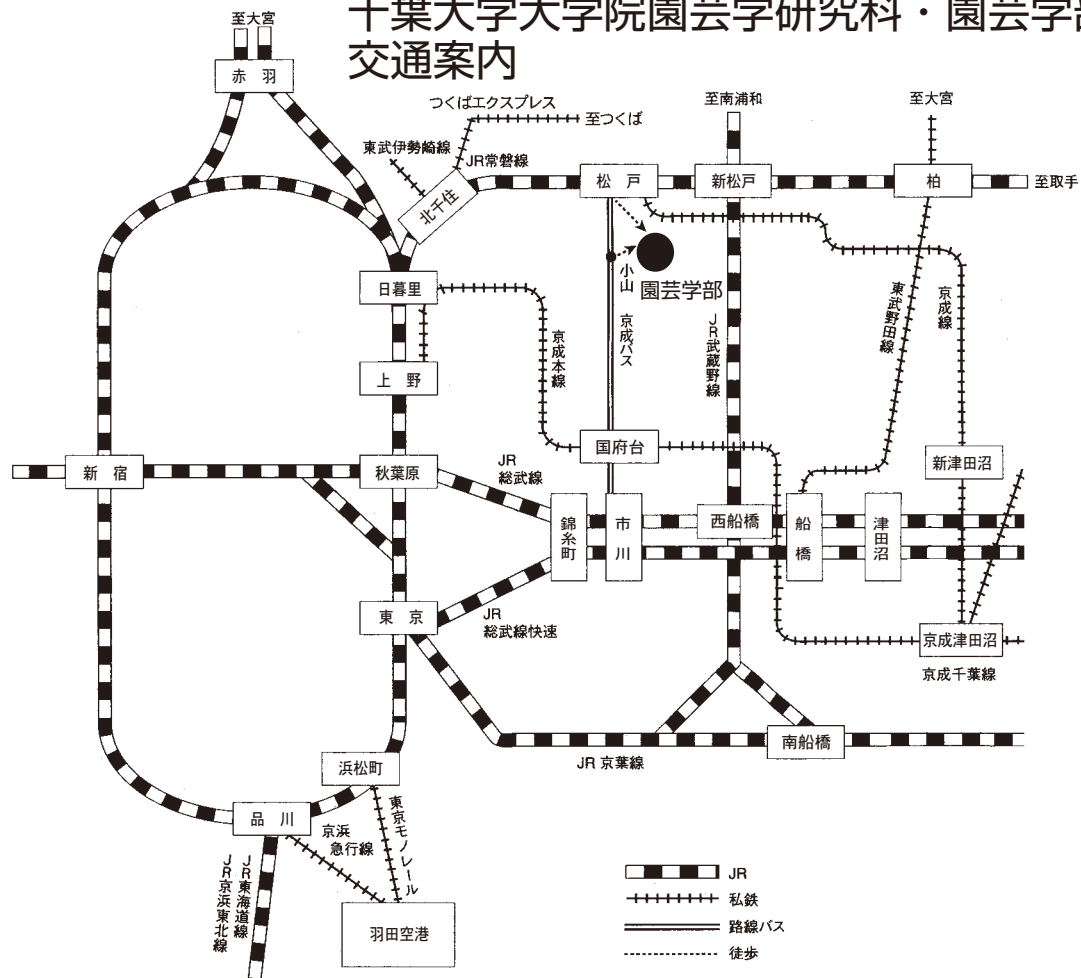
◎印は2028年3月31日で定年退職となる教員です。

③環境健康学領域

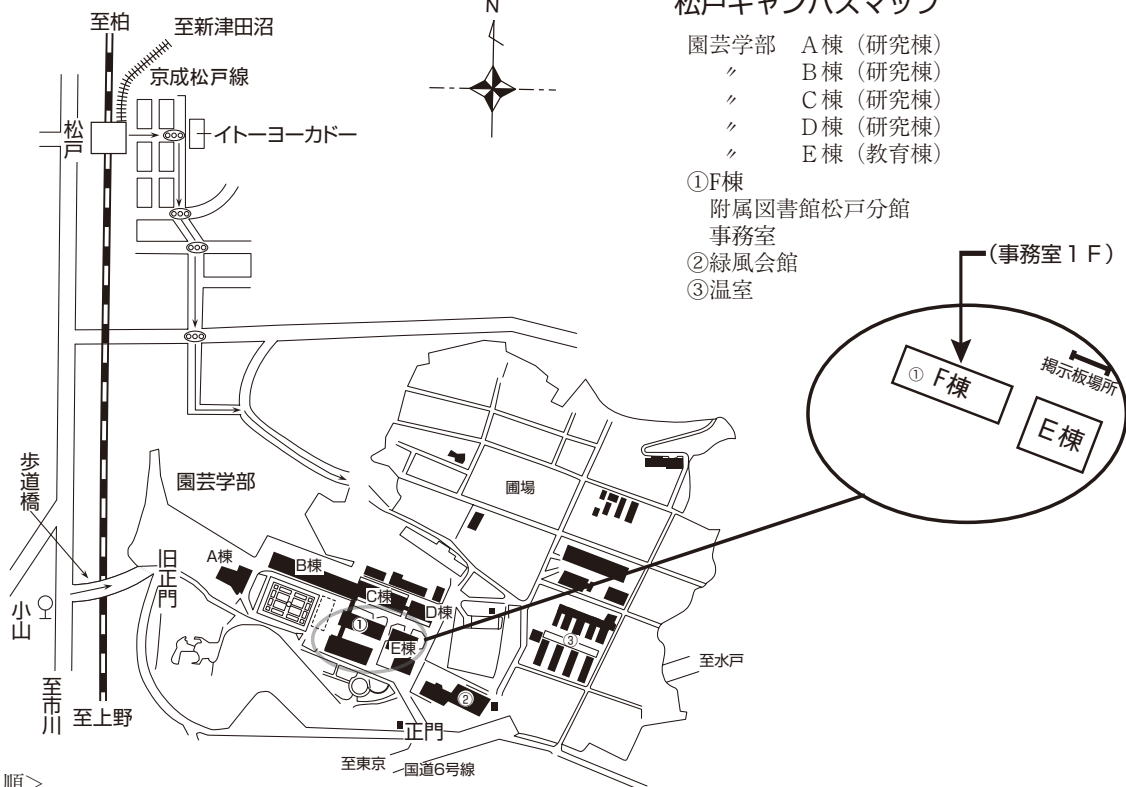
【環境健康学領域】

氏 名	研究テーマ（キーワード）	備 考
教 授 岩崎 寛	緑地福祉，園芸療法，森林療法，アロマセラピー，病院緑化，緑地の生理・心理的效果	
准教授 三島 孔明	環境教育，食農教育(食育)，科学コミュニケーション，植物文化，環境活動，社会園芸学，環境社会学，環境関連分野の情報普及	

千葉大学大学院園芸学研究科・園芸学部 交通案内



松戸キャンパスマップ



<道 順>

- ・ JR常磐線上野駅からJR常磐線松戸駅まで約20分
- ・ JR常磐線（地下鉄千代田線）又は京成松戸線松戸駅下車，東口から徒歩約15分
- ・ JR総武線市川駅から京成バス松戸駅行又は松戸営業所行（矢切駅経由）を利用約30分，小山下車徒歩約5分